取り扱い説明書

DAYTONA

62947、62950①/⑤

*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

スリップオンマフラー	適応車種	商品NO.
	FLSTS<BRY> FLSTSC<BRY>, FLST<JEY> (TC88モデル)	62947 62950

この度はデイトナ「スリップオンマフラー」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。
なお、万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

〈特長〉

- 純正エキゾーストパイプとマッチングする深みのある光沢クロームメッキ仕上げ。
- 騒音規制値、排出ガス基準値をクリアー、経年変化対策済み、消音ウールの交換不要、JMCAプレート付属。
- ボルトオンで交換可能なクラシックタイプの左右出し仕様です。(FLSTSC/FLSTSのみ)

〈JMCA認定番号〉

商品名	JMCA認定番号
スリップオンクラシックマフラー99　(62947)FLSTS	00279396
スリップオンクラシックマフラー94　(62950)FLSTSC/FLST	00279395

〈音量〉

車種/商品名(パーツナンバー)	近接
FLSTS/スリップオンクラシックマフラー99　(62947)	99dB/2,725rpm
FLSTSC/スリップオンクラシックマフラー94　(62950)	94dB/2,725rpm
250cc超JMCA騒音規制値	99dB
250cc超JMCA騒音規制値(平成13年騒音規制)	94dB

〈商品内容〉

№	パーツ名	サイズ	数量	№	パーツ名	サイズ	数量
①	右サイレンサー(触媒内蔵、JMCAプレート付属)		1	③	JMCAカード		1
②	左サイレンサー		1				

※認定型式の分につきましては「自動車排出ガス試験成績表」が商品に同封されています。

⚠注意

[取り付け上の注意]

- エンジンをかけると、マフラーは非常に高温となりますので、エンジンを停止して車体全体が十分に冷えるまで作業をしないでください。また、高温の時はガソリンや引火性のあるワックス・クリーナー・塗料などのケミカル品をマフラー等に垂らしたり吹き付けたりする事も絶対にしないでください。火傷やバイクの損傷、火災の恐れがあります。
- このマフラーはノーマルエンジンを対象に設計されております。エアクリーナー、キャブレターなどを交換すると、本来の性能が発揮できない場合や、排ガス規制値及び騒音規制値が法定値を上回る場合があります。
- このマフラーはメーカー指定基準で整備されたノーマルエンジンを対象に設計されております。エアクリーナーの清掃やアイドリング回転数の調整を必ず定期的に行ってください。
- 排気関係の部品は、錆びてボルト・ナットが緩みにくい事があります。無理に緩めようとすると、ボルトが折れたりする事がありますので、スプレー式の浸透性潤滑油を使用し、適正な工具を利用して無理の無いように作業を行ってください。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使い、それぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで必ず締め付けてください。
- このマフラーを装着する際、純正の部品も一部使用しますので、純正マフラーを取り外した時に各部品が紛失しない様にご注意ください。

・この商品に、曲げ・切削・溶接等の追加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には加工しないでください。バイクの走行性能が低下するだけではなく、騒音等が道路運送車両法の保安基準に抵触する場合があります。また、ＪＭＣＡ(全国二輪車用品連合会)認定パーツの対象外になります。

[使用上の注意]

・基本的にこのマフラーのみ装着した場合には、キャブレター等のセッティングの必要はありません。ただし、車両個々のバラツキ、またはエアクリーナーの交換やボアアップ等のチューニングを行った場合には、キャブレターのセッティングが必要になる場合があります。

・ＪＭＣＡカードについては再発行できませんので、紛失する事のないよう大切に保管してください。

・マフラーやサイレンサーに足を掛けてバイクにまたがらないでください。マフラーやサイレンサーの損傷の恐れがあります。

・オートバイのエンジンやマフラーは始動させると高温になります。枯れ草等の燃えやすいものの上でエンジンを始動させたり、また停止直後に停車及び駐車させますと、火災の原因となります。オートバイの下に燃えやすいものがないか必ず確認してから駐車及び停車するようにしてください。

・ライディングマナーを守り、急発進・急加速・空ぶかしはやめましょう。また、早朝や深夜等も静かな走りを心がけてください。

・エンジンが始動しているとき、あるいはエンジンを停止させた直後は、マフラーは高温となっています。オートバイのマフラーは露出しており触れやすいため、触れると火傷の危険があります。十分注意してください。また、オートバイを停車及び駐車させる場合は、歩行者や近くの人・物に接触しにくい場所にしてください。

・排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中でエンジンを掛け続けると、一酸化炭素中毒の恐れがありますので、必ず十分な換気を行ってください。

・マフラーからは有毒な排気ガスが出ます。停車または駐車中に、オートバイの後ろ(排気ガス口)に人が居る(特に幼児やペット)にもかかわらずエンジンを掛け続けると、一酸化炭素中毒の恐れがありますから必ずエンジンは停止してください。また、風向きによっても危険な場合がありますので十分注意してください。

・弊社のマフラーを装着すると、排気効率が改善され、オートバイの性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧に行い、オートバイの制動能力を認識して安全運転を心掛けてください。またエンジンフィーリングが変わる場合がありますので、特に交換直後など慣れるまでは十分に注意して運転してください。

・弊社のマフラーはオートバイの標準地上高、またはこれに近い状態で、路面に対してのクリアランスが確保されるように設計してあります。従って車高を下げる改造等を行いますと、路面や駐車場等の突起物に接触してマフラーを破損したり、接触したものを破損する恐れがあります。また破損部分から排気ガスが漏れたりする場合があります。必要以上の車高下げは行わないでください。

・この商品はノーマルエンジンを前提にＪＭＣＡ(全国二輪車用品連合会)の認定を受けています。エンジン等をチューニングされたオートバイについては、音量などの増加により認定の対象外となることがありますので、十分注意してください。

・取り付けたボルト・スクリュー・ナットは、取付後１００ｋｍほど走行した時点で、必ずトルクレンチを使って規定トルクで増し締めをしてください。緩んだまま走行を続けると事故につながる恐れがあります。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検し、緩んだ個所があれば同様の増し締めを行ってください。

・走行中に異常が発生した場合には、直ちにオートバイを安全な場所に停車させ、異常個所を点検してください。

・この商品或いはこの商品を取り付けたオートバイを他の第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

・この商品は記載されている適応車種以外の車両には、使用しないでください。

[その他の注意]

・この商品は、規格サイズのパイプ材ではなく、造形面や性能面を良くするために、板材を丸く成型して溶接しています。そのためメッキ後でも溶接跡や凹凸が一直線上に残ります。この跡は目立たないように車体取り付け後、下に来るように設計しています。この跡はメッキ不良、キズや凹み等の商品の不良ではなく、クレームの対象外となりますので、予めご了承ください。

・**認定外型式には「自動車排出ガス試験成績表」が用意されていませんので車検対応になりません。また、認定型式においても、車検時に付属の「自動車排出ガス試験成績表」を他の車検書類同様に添付しませんと車検は受けられません。**

「自動車排出ガス試験成績表」の再発行は可能ですが、重要書類ですので紛失や車検時に添付を忘れないようにご注意下さい。

・この商品は、予告なしに仕様または価格を変更する場合があります。また、本文中にご紹介した商品についても、予告なしに仕様または価格を変更する場合があります。予めご了承ください。

■取り付け手順■FLSTSC／FLSTS

［純正サイレンサーの取り外し］

⚠注意	純正マフラーの取り外しは、メーカー発行のサービスマニュアルを参考に火傷などのケガに注意して行なってください。

1．　純正エキゾーストパイプのヒートガードをクランプしているバンドを緩め、ヒートガードを取り外します。

2．　純正サイレンサージョイント部のバンド（Torca クランプ）を緩めます。

3．　純正サイレンサーの取付ボルト（図解Ａ：左右各２本）／ワッシャ類を取り外し、純正サイレンサーを取り外します。

4．　純正サイレンサーからステー（図解Ｂ：左右各２個）を、取付ボルト（図解Ｃ：左右各４個）と一緒に外します。

［スリップオンマフラーの取り付け］

1．　①右サイレンサーおよび②左サイレンサーにステー（図解Ｂ：左右各２個）を、取付ボルト（図解Ｃ：左右各４個）で取り付けます。

2．　①右サイレンサーおよび②左サイレンサーに新品のマフラーバンド（Torca クランプ）を取り付けます。

3．　①右サイレンサーおよび②左サイレンサーをエキゾーストパイプに差込みます。

⚠注意	内蔵されている触媒が見え、ＪＭＣＡプレートが付属しているほうが「①右サイレンサー」です。間違えないよう気をつけてください。

4．　左右サイレンサーを純正サポートチューブ（図解Ｄ：左右２本）に、取付ボルト（図解Ａ：左右各２本）／ワッシャ類で取り付けます。

5．　各部の干渉がないことを確認し、エキゾーストバンド（Torca クランプ）を［6 1.1～88.2Nm］で締め付けてください。

⚠注意	バンド（Torca クランプ）は確実に締め付けてください。マフラーの脱落などの原因となります。

⚠注意	バンド（Torca クランプ）は新品に交換してください。

6．　ヒートガードをエキゾーストパイプに取り付けます。

7．　エンジンを始動させ、各取り付け部から排気漏れのないことを確認し、作業は完了です。

⚠注意	排気漏れの確認をする際、火傷をしないよう十分注意してください。 エンジンを始動する前に必ずマフラー本体を脱脂してください。焼けムラ等の原因となります。

■ 取り付け手順■FLST

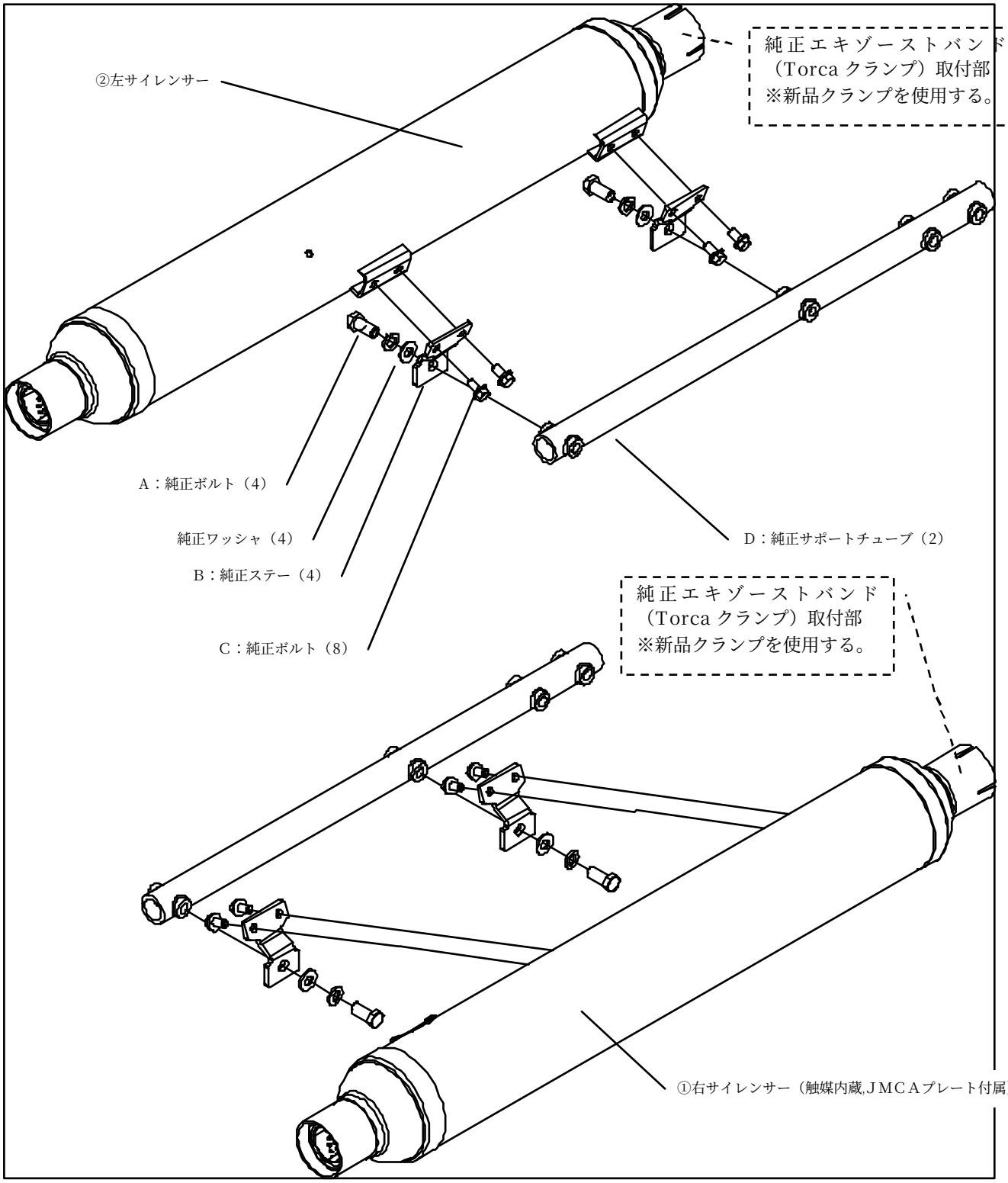
⚠注意	事前に純正左右出しエキパイ＆ステーを用意して下さい。ノーマルには使用出来ません。

1．　純正エキゾーストパイプ、純正サイレンサー、各種純正ステーすべてを取り外します。

2．　FLSTSC 純正部品のエキゾーストパイプ廻りの部品に総交換します。

3．　以降は FLSTSC/FLSTS の取り付け手順と同じです。

■取付詳細図■（FLSTSC／FLSTS）



※商品の左右サイレンサー本体①②以外の部品は、すべて純正部品を再使用します。
本図と純正部品の構成、外観、仕様が異なる場合が有ります。

⚠警告

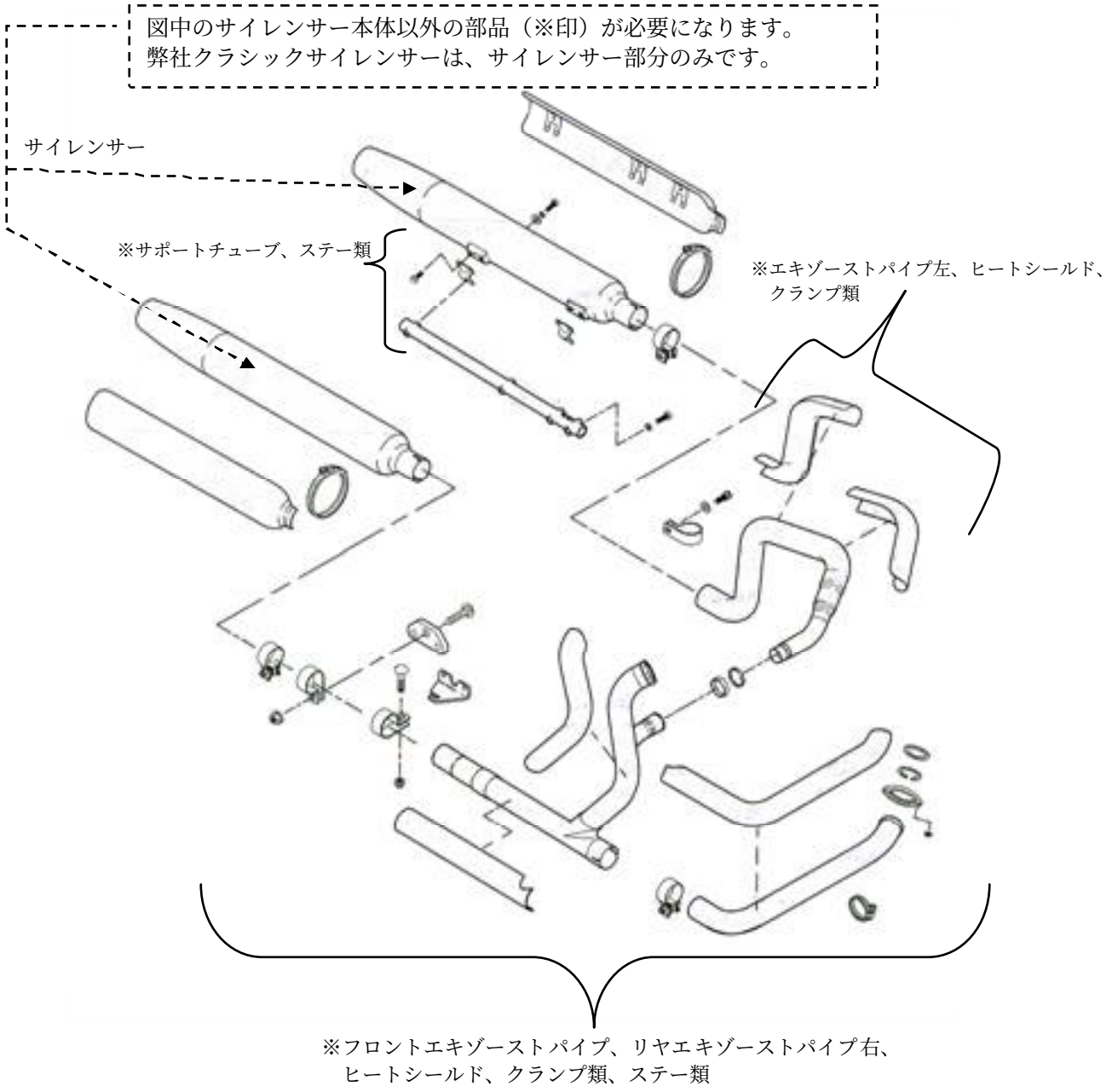
- 取り付けは確実に行って下さい。また、走行中ネジ部等緩むことがない様に、規定トルクにて確実に締め付けて下さい。
- 取り付け後、約１００km 走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行って下さい。その後は約５００km 毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。

⚠注意 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。

⚠注意

ＦＬＳＴ＜ＪＥＹ＞等の純正右２本出しマフラーに商品を装着する場合は、別途純正部品（※印）をご用意下さい。
ノーマルでの装着は出来ません。必要な純正部品は必ずソフテイル用パーツリストを参照して下さい。
商品装着（左右出しに変更）にあたっては、ハーレー系専門店等のアドバイスを受ける必要が有ります。

■FLSTSC 純正部品構成図■（FLST 取付時参考）



⚠警告

・取り付けは確実に行って下さい。また、走行中ネジ部等緩むことがない様に、規定トルクにて確実に締め付けて下さい。
・取り付け後、約１００km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行って下さい。その後は約５００km毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。

⚠注意 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。

株式会社デイトナ　〒438-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
*この用紙は再生紙を使用しております。
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」０１２０－６０－４９５５までお願い致します。